

○ 歳入確保策

歳出面だけでなく、歳入面から見直しを進め、施設使用料や保育園・学童保育クラブ保育料の見直し、自動販売機の設置に係る公募制度の導入などに取り組んだ結果、財源確保額は予定していた2億6,700万円に対し、2億7,102万円となりました。

【財源確保額の内訳】

・施設使用料の見直し	96,562千円
・学童保育料の見直し	15,029千円
・保育園保育料の見直し	87,813千円
・自動販売機の設置に係る公募制度の導入	68,279千円
・新たな歳入確保策の実施	3,340千円

2 各部局における事務事業見直しの取組

緊急財政対策本部において、見直しは行わず現状のまま継続することとした事業及び緊急財政対策本部による見直しの対象としなかった事業（義務的事業など）についても、各部局において見直しに取り組み、財源の確保を図ることとしました。

より効果的・効率的な執行方法の検討や、状況の変化に応じた事業の見直しなど、各部局において、絶えず見直しに取り組んできた結果、平成24年度から26年度までの合計で1億273万円の財源を確保しました。見直しを行った主な事業と見直しの概要等については、以下のとおりです。

見直しを行った主な事業と見直しの概要

事業名	見直しの概要	財源確保額 (千円)
高齢者等緊急通報システム	非常通報システムへの移行促進に伴う新規受付の休止	8,277
ひとりぐらし高齢者等への助成	さわやかコール、高齢者火災安全システムの助成対象者見直し	12,742
高齢者在宅支援ヘルパー派遣	訪問介護員養成研修に係る制度見直しに伴う研修修了者への補助の廃止	9,294
予防接種（碑文谷保健センター）	碑文谷保健センターでの集団接種を医療機関での接種に変更	11,272
駐輪場等運営	登録制自転車置場の委託事業者人員配置の見直し	12,367
公衆便所管理	工事内容の精査による工事請負費等の削減	5,683
保存樹木等の補助	保存樹木等の新規指定休止	4,281
興津自然学園運営管理	施設管理運営委託の拡大による非常勤職員配置などの見直し	30,765